

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 1 号
 プロスペクト・リート投資法人
 代表者名 執行役員 西吉 健夫
 (コード番号 8969)
 資産運用会社名
 プロスペクト・リート・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 築島 秋雄
 問合せ先 取締役 I R・企画総務部長 二瓶 博和
 TEL. 03-5221-8150

平成 21 年 7 月期 (第 8 期) 運用状況の予想の修正に関するお知らせ

プロスペクト・リート投資法人(以下、本投資法人といいます)は本日、平成 21 年 3 月 13 日に公表した平成 21 年 7 月期(平成 21 年 2 月 1 日から平成 21 年 7 月 31 日)における本投資法人の運用状況の予想について、下記の通り修正することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 7 月期(平成 21 年 2 月 1 日から平成 21 年 7 月 31 日)の運用状況の予想の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1口当たり 分配金	1口当たり利益 超過分配金
前回発表予想(A)	2,242 百万円	909 百万円	422 百万円	421 百万円	5,608 円	—
今回修正予想(B)	2,267 百万円	863 百万円	377 百万円	376 百万円	5,007 円	—
増減額(B) - (A)	25 百万円	46 百万円	45 百万円	45 百万円	601 円	—
増減率(%)	1.1%	5.1%	10.7%	10.7%	10.7%	—

(注1) 予想期末発行済投資口数 75,100 口

(注2) 上記は現時点での運用状況の予想であり、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益及び分配金は変動する可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。

(注3) 金額は単位未満の数値を切り捨て、百分率は小数点第 2 位以下を四捨五入して表示しています。

2. 修正の理由

運用物件の稼働状況につきましては、ほぼ期初予想通り堅調に推移しています。一方、平成 21 年 4 月以降、テナントの退去が通常を大きく上回るペースで発生し、退去に伴う原状回復費用および後継テナント募集のための各種費用が同予想より大きく膨らむことが見込まれるため、利益面の予想を減額修正するものです。上記の通常を上回るテナントの退去は、一部企業が借り上げ社宅制度を今春より見直したことによる要因が大きいと分析しており、現在は元のペースに戻りつつあります。なお、運用物件の大宗が東京周辺部にあり家賃が比較的低い物件が多いこと、物件の競争力、プロパティマネジメント会社との積極的な協働、などを背景に後継テナントは順調に決まっています。

以 上

本資料の配布先：兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.prospect-reit.co.jp>